52th クラブ週報城東版

国際ロータリー第2580地区

Rotary
東京城東ロータリークラブ

2017.　9.　25　　第2398回例会

「ロータリーの可能性を追求しよう」

東京城東ロータリークラブ会長　阿部　豊

例会日　毎週月曜日　12:30 ～ 13:30
例会場　〒 130-0013　墨田区錦糸1-2-2　TEL 5611-5511
東武ホテルレバント東京
事務局　〒 130-0013　墨田区錦糸1-1-5
TEL 5637-4605　FAX 5637-4611
事務局　天尾　文（伊藤）
E-mail　jyoto@club.email.ne.jp

会　長	阿 部　豊	副会長	若井　一郎
幹　事	江波戸　健 治	副幹事	重田　敦史
		会報委員長	宮﨑　浩一

R I 会長
イアン H.S. ライズリー

第2580地区ガバナー
吉 田 雅 俊

第2580地区幹事
本 多 良 美

ガバナー補佐：山本和夫
(東分区担当)
東分区幹事　：中山直幹
東分区副幹事：山本昌之

ロータリー：
変化をもたらす

本日の卓話

「 虐待や貧困などで孤立する子供 」

認定NPO法人 3keys（スリーキーズ）
森 山 誉 恵 氏

2017/9/11(月)
「 9.11を経験して 」
重 田 敦 史 会員

2017年9月11日 例会報告

点　鐘	
ロータリーソング	『手に手つないで』
ゲストスピーカー	0名
ゲスト及びビジター	3名
会員出席状況	48名中38名(出席率79.17%)
前々回訂正出席率	100%

- 来月10月の受付当番 -

伊藤(裕)君/今井君/宇都宮君/梅野君/岸田君

ニコニコボックス

◎10/30 の東分区 IM ご出席のお願いに参りました。
ご出席くださいますよう宜しくお願い致します。
東京東 RC 田口典彦様・金子勝明様

○先週はガバナー公式訪問、皆様ありがとうございました。IM 田口実行委員長、金子会長ようこそお越しくださいました。
阿部　豊君・江波戸健治君
若井一郎君・重田敦史君

○重田さん、卓話よろしくお願いします。
山田　昇君・奈良康司君・山口幸一君
今井邦彦君・細谷貞治君・田島敬三君
鯨岡俊司君・宮﨑浩一君・伊藤健一君
齊藤榮一君・水谷　彬君・篠田秀樹君
篠田泰彦君・青木桂三君・上條隆志君
大塚伸也君・池永憲明君・渡辺孝至君
秋山恭一郎君・村上愼吾君
大鳥居武司君・佐野一信君

○お祝いを頂いて。　山岸文男君

小計￥96,000.-　累計￥729,000.-

次回の卓話

「 わが町本所、マッチの話」

大鳥居 武司 会員

内 容 充 実 の 為 に、皆 様 か ら の 投 稿 を お 待 ち し て お り ま す ！

2017-18年度 東京城東ロータリークラブ 第3回理事役員会

2017年9月11日(月) 東武ホテルレバント東京

理　事　　阿部　豊(会長)○
若井一郎(副会長・クラブ奉仕)○
篠田秀樹(職業奉仕)○
池永憲明(社会奉仕)○
宇都宮英雄(国際奉仕)×
山田　昇(青少年奉仕)○
渡辺孝至(クラブ資料)○
細谷貞治(直前会長)○
上條隆志(親睦活動)○

役　員　　江波戸健治(幹事)○
重田敦史(副幹事)○
今井邦彦(会計)○
青木桂三(ＳＡＡ)○

≪議題≫

1．月次会計報告（7・8月分）⇒　承認

2．第２回クラブフォーラム
【社会奉仕・青少年奉仕担当】
9／25（月）13：30～
「城東ロータリークラブの地域社会との係わり方」
当クラブ会員は地域で活躍されている方が多いが、近隣地域での認知度が低いと思われる為、意見を伺いたい

3．委員会報告
①親睦活動委員会
・第１回ホームミーティングについて
入会順に振り分けた（６班、各８名）
・親睦家族会　12／9（土）
クリスマス家族会を全面に行いたい

4．その他
①ガバナー公式訪問結果9／4（月）
事前の打合せ会でまったく話がなかった広報・プログラム・Ｒ情報委員長の方々にはクラブ協議会で、突然報告をお願いし、申し訳ありませんでした
吉田ガバナーより「ロータリークラブらしいロータリークラブ」ですねとお褒めの言葉がありました

（右上に続く）

②東分区IMについて　10／３０（月）
本日、東RCよりキャラバンに金子会長と田口実行委員長が来会されます
③振込め詐欺防止対策プロジェクト
明日・明後日（9／11・12）に亀戸駅前錦糸町駅前で「振込め詐欺」防止シール配布を行いますので、ご協力よろしくお願い致します
④第5回理事役員会について　11／6（月）
阿部会長海外出張の為、若井副会長が代理として行います

7．次回開催
10月2日（月）11：30～

東京城東ロータリークラブ 第１回ホーム・ミーティング報告①

◎リーダー、○サブリーダー（順不同・敬称略）

【第１班】
日　時　平成２９年９月４日（月）午後６時～
場　所　東武レバントホテル２４階「簾」
参加者　岡本、渡辺、上條、篠田（泰）
江波戸、◎篠田（秀）、○杉田

同日午前中に行われたガバナー公式訪問（クラブ協議会）での内容を受け、岡本会員及び渡辺会員より、昔と比べての現在のロータリーの変化についてお話がありました。東分区の３ガバナー補佐制等、新たな試みに積極的に取り組んでいく一方で、温故知新、ロータリーの伝統や昔ながらの良さを忘れない変化をしていってほしいとのお話がありました。

また、岡本会員からは、城東ロータリークラブ初代渡辺会長のお話も含め、江東ロータリークラブを親クラブとして設立した当時の様子についてお話をいただきました。

中堅、若手会員にとって、まさに、過去から未来へ続く、東京城東ロータリークラブの長い歴史と伝統を学べるすばらしいホームミーティングとなりました。　（篠田（秀）会員記）

「振込め詐欺」防止対策プロジェクト
JR亀戸駅・JR錦糸町駅 シール配布

日　時　９月１２日（水）　　※亀戸駅は雨天の為 11 日 (火) より延期
午後４時半　集合・午後５時～　配布開始
配布終了後打上げへ移行

亀戸駅前

錦糸町駅前

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

ＲＩニュース：2017.9.6

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

砂防ダムが農家の収入を増やし、若者の流出に変化をもたらす

少し前まで､ラジャスタン州（インド）のシカー地区、アルワ地区の若者は、仕事を求めて都会に出ていました。降雨量が不安定なため農業用水が不足し、家族を養うために農業を諦めるほかなかったためです。村の老人ゴバーダンさんは言います。「244 メートルの深さの井戸でも水を得るのが困難だった。灌漑用水をモンスーンの水だけに頼っていたら、水不足になり、若者も仕事を求めて大都市へいってしまいました」

今では、ロータリーの水プロジェクトのおかげで農業が再び黒字となり、若者が村に戻ってきました。砂防ダムをつくり、地面に浸透した雨水が流れ出さないようにすることで収穫が可能になりました。農家は、この水を利用して井戸の水を確保します。砂防ダムは、一般的なダムのように川をせき止めるものとは異なり、貴重な雨水の流出を防ぐためのものです。

「以前の村は年寄りだけでしたが、今は若い人たちが戻ってきました」と、プロジェクト受益者の一人となったゴバーダンさんは話します。。

貯水池

Rotary India Water Conservation Trust（ロータリー・インド水保全トラスト）は、PHD 農村開発財団と協力し、2005 ～ 2017 年の間に 82 の砂防ダムを建設。これによって、25 万人を超える地域住民に恩恵をもたらしました。この活動では、ロータリー財団管理委員で、上記トラストの名誉会長を務めるスシル・グブタ氏が中心となってプログラムを推進しました。

侵食を防ぐダムの高さは 4.3m、基盤の深さは 2.1mです。その集水域は 3 ～ 7km に渡ります。

近くの丘から水が集水域へと流れ、そこで約 6 ～ 8 カ月留まります。水がひくと泥と豊かな鉱物が残るため、次のモンスーンが始まる前にもう一回収穫でき、現金収入を得ることが可能になりました。これらのうち 20 カ所のダムでは常に水が蓄えられており、魚もとることができます。

「水が不足していた時は、粟と少しの小麦しか生産できませんでした。今では粟、小麦、野菜（オクラ・トマト・緑の唐辛子など）が収穫できます。井戸の水位も 2.4mほど高くなりました」ゴバーダンさんは、誇らしげに周辺の緑を指差します。

ゴバーダンさんの家に集まった農夫の一人によると、仕事を求めて都会に出た 5 人の息子が皆、村に戻ってきたそうです。水は豊富にあり、穀物も沢山とれる。資金を貯めて最近､約 8 千ドル（約 88 万 8 千円）のトラクターを購入したそうです。

砂防ダムは村人が責任をもって管理しています。それぞれのダムを監督する委員会が設置され、維持費となる資金も銀行で管理しています。

「ある委員会では、ダムの幅を拡張する計画を立てている」と、地元の Indraprastha-Okhla ロータリークラブ会員で、水保全トラストのプロジェクト責任者をしているアツル・デブさんは話します。

国境を越えてつながる

2014 年 11 月、デブさんは、Brumath-Truchtersheim-Kochersberg ロータリークラブ（フランス）元会長のフィリペ・ダンゲルサーさんと一緒に、完成した砂防ダムの落成式と、新たにダム建設の起工式に出席しました。

ダンゲルサーさんは、年に 2 回、フランスやドイツのロータリークラブからの寄付金をもってインドを訪れます。これまでに 24 件のダム建設に資金を投じました。今回は 3 万ユーロ（約 355 万円）で、4 ～ 5 つのダムを作る予定です。ダム一つのコストは 1 万 2 千ドル（約 133 万円）で、これに地元の有志が集めた資金が加わります。ダンゲルサーさんとインドのつながりは、シカゴで行われた 2005 年ロータリー国際大会に遡ります。第 3010 地区（現在の第 3011 地区）のパストガバナー、ランジャン･ディングラ氏がダンゲルサーさんをインドに招待したのです。その後ダンゲルサーさんは、ある農夫から「神が私たちを誕生させ、彼が私たちに命をくれた」と言われるほど熱心な協力者となりました。

これらのダム建設プロジェクトでは、今日までに、ロシアや米国のロータリークラブのほか、教会からも寄付金が寄せられています。